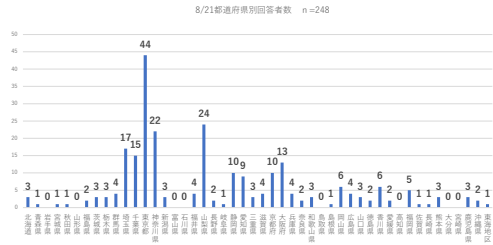


厚労科研  
放射線療法に関する患者アンケート  
経過報告

若尾直子  
2022年8月23日

回答都道府県概要 n=248 8/22時点  
都道府県グラフのみ8/21時点



1

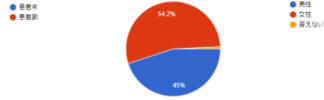
2

患者属性 n=249

1, 患者さんに本人かどうか教えてください  
249 件の回答

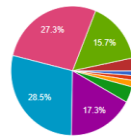


3, 患者さんの性別を教えてください  
249 件の回答

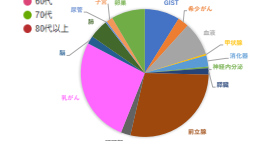


4, 患者さんの年代層を教えてください。例えば、45歳なら40代としてください

249 件の回答



5, 疾患部位概要 N=248

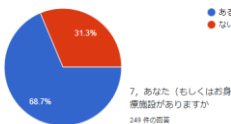


3

4

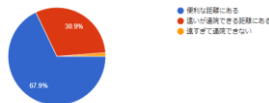
6, あなた（もしくはお身内の患者さん）は、放射線療法を受けたことがありますか

249 件の回答



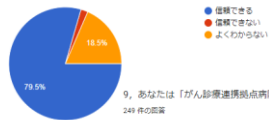
7, あなた（もしくはお身内の患者さん）が通院できる地域に、放射線治療ができる医療施設がありますか

249 件の回答



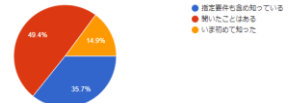
8, 問7で「ある」と答えた方に伺います。その施設は信頼できますか

249 件の回答



9, あなたは「がん診療連携拠点病院」とはなにかに存じですか

249 件の回答



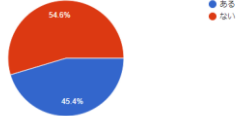
5

6

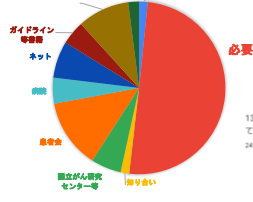
10. 放射線治療はどこでも同じだと思いますか。一つだけお選びください  
249 件の回答



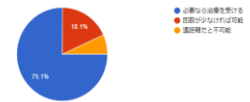
11. 放射線治療（療法）に関するわかりやすい情報源はありますか  
249 件の回答



12. 情報の必要性和情報源  
249 件の回答



13. 必要だと思われる放射線治療施設が遠距離（都道府県を越える場合も含む）だとしても、そこに行って治療を受けますか  
249 件の回答



7

8

期待すること（一部）

施設が所有する放射線治療機器の効果は、他の施設と比較するとしたら、より優れているかどうか知りたいたい。  
主治医や放射線医に推奨されると選択肢がない。どんな選択肢があるのか、機器、回数、二次がんや後遺症、副作用の違いのエビデンスがあるなら、選択できるようにしてほしい。  
認知症のリスクを避けるために、海馬を避けた全脳照射が、患者が希望するならば誰でも受けられること  
体への負担が小さく、仕事を含め日常生活との両立を可能とする治療法として期待します  
手術を行いにくい箇所に対して行えるもの。場合によっては手術と同様の根治が望めるもの。  
安心して治療が受けられる医療機関が近くにあること。治療回数が少なくなること。  
病変部位が小さくなる、もしクワ、消滅する事を期待します。  
私は乳がんの初期でしたので浸潤もなく、放射線治療で癌細胞を消滅させるとのことで治療を受けました。人によっては皮膚に炎症が起こったり身体に異常が出る人もいたようですが私の場合ははなにも起こらず本当に楽でした。当時は転移とか心配が少しありましたが、放射線治療でそれが防げると期待していました。結果として今のところ何もなく過ごしています。  
再発リスクの軽減  
通える距離感と費用負担軽減。どの医療機関でも均てん化された放射線治療を受けられること  
信頼していないわけではないですが、脳転移に照射したあと、腫瘍内出血を起こしているのその後放射線を受けるのが怖くなっています。安心して受けられるように期待したいです。  
少ない副作用

9

課題等（一部）

エリアごとに放射線治療が選べ、連携できるような体制整備。  
緩和での放射線を充実してほしい。また、仕事をしている人にとっては、1回の出力を上げて回数を少なくする治療も選択できるようにしてほしい。また、夜間に通えるようにしてほしい。  
ガンマーナイフ 頭になじまないマスク方式の普及  
患者・家族への十分な情報提供。治療を担う専門人材の育成と適正な配置。  
"治療に関してだけでなく検査に関しても感じるがその病院の持つ機器、使える技術者がいるか否かにより受けられるものが違うのは患者に対し不利益ではないだろうか。どうしても有力のある地域、病院に偏っている気がする。"  
放射線治療は、ある一定期間、毎日通院する必要があるため、自宅や職場の近くなど受診しやすい場所にあること。医療機器の技術や治療法の研究などが進み、治療回数が少なくて副作用も軽くなることを願っています。  
"都会と田舎では今、かなり格差があると、思います。高齢者は遠いと車がないと通えない状況がでてきます。せれが、なくなったらと、思います。"  
一般的に放射線治療は難しく怖いというイメージがあります。二人に一人が癌患者といわれる今日、もっと癌の治療法の一つが放射線治療という認識を広く一般人に広められたら治療環境も向上できるかもしれません。私の放射線治療体験は苦痛とはかけ離れた姿なので、そういう体験も一般人の方には参考になるのかもしれません。  
放射線治療のための通院費の補助  
居住地域で差が出来るように設置してほしい。集約化が必要なら交通費負担などの問題を総合して考えてほしい。どこにいても同じように治療が受けられるような環境を整えていただきたいと思っています。

10